

2023 年 12 月 15 日
株式会社紀伊國屋書店

「紀伊國屋じんぶん大賞 2024 読者と選ぶ人文書ベスト 30」を発表

株式会社 紀伊國屋書店（代表取締役社長 藤則 幸男）はこのたび、「紀伊國屋じんぶん大賞 2024 読者と選ぶ人文書ベスト 30」を発表いたします。

「読者の皆さまと共に優れた人文書を紹介し、魅力ある『書店空間』を作っていきたい」との思いから立ち上げた「紀伊國屋じんぶん大賞」は、今年で 14 回目を迎えました。

おかげさまで、本年もたくさんのご応募と推薦コメントをお寄せいただきました。一般読者の方々からいただいたアンケートを元に、出版社、紀伊國屋書店社員による推薦を加味して事務局にて集計し、ベスト 30 を選定いたしました。

※2022 年 11 月以降に刊行された人文書を対象とし、2023 年 11 月 1 日～11 月 30 日の期間に読者の皆さまからアンケートを募りました。当企画における「人文書」とは、「哲学・思想、心理、宗教、歴史、社会、教育学、批評・評論」のジャンルに該当する書籍（文庫・新書も可）としております。

◆「紀伊國屋じんぶん大賞 2024」 読者と選ぶ人文書ベスト 30

1 位	検証 ナチスは「良いこと」もしたのか？	小野寺拓也／田野大輔	岩波書店
2 位	タイミングの社会学 ディテールを書くエスノグラフィー	石岡丈昇	青土社
3 位	トランスジェンダー入門	周司あきら／高井ゆと里	集英社
4 位	訂正可能性の哲学	東浩紀	ゲンロン
5 位	万物の黎明 人類史を根本からくつがえす	デヴィッド・グレーバー／デヴィッド・ウェングロウ／酒井隆史 [訳]	光文社
6 位	庭のかたちが生まれるとき 庭園の詩学と庭師の知恵	山内朋樹	フィルムアート社
7 位	マルクス解体 プロメテウスの夢とその先	斎藤幸平	講談社
8 位	「能力」の生きづらさをほぐす	勅使川原真衣	どく社
9 位	土偶を読むを読む	望月昭秀[編]	文学通信
10 位	超人ナイチンゲール シリーズ ケアをひらく	栗原康	医学書院

11 位	依存症と人類 われわれはアルコール・薬物と共存できるのか	カール・エリック・フ イッシャー／松本俊 彦[監訳]／小田嶋由美 子[訳]	みずず書房
12 位	宗教右派とフェミニズム	ポリタスTV[編]／山 口智美／斉藤正美	青弓社
13 位	〈公正（フェアネス）〉を乗り越なす 正義の反対は別の正義か	朱喜哲	太郎次郎社エディ タス
14 位	自分のために料理を作る 自炊からはじまる「ケア」の話	山口祐加／星野概念	晶文社
15 位	〈悪の凡庸さ〉を問い直す	田野大輔・小野寺拓也 [編著]	大月書店
16 位	ふつうの相談	東畑開人	金剛出版
17 位	野生のしっそう 障害、兄、そして人類学とともに	猪瀬浩平	ミシマ社
18 位	食客論	星野太	講談社
19 位	慣れる、おちょくれ、踏み外せ 性と身体をめぐるク ィアな対話	森山至貴／能町みね 子	朝日出版社
20 位	言語の本質 ことばはどう生まれ、進化したか	今井むつみ／秋田喜 美	中央公論新社
21 位	明治大正昭和 化け込み婦人記者奮闘記	平山亜佐子	左右社
22 位	A C E アセクシュアルから見たセックスと社会のこ と	アンジェラ・チェン／ 羽生有希[訳]	左右社
23 位	「日本に性教育はなかった」と言う前に ブームとバ ッシングのあいだで考える	堀川修平	柏書房
24 位	不穏な熱帯 人間〈以前〉と〈以後〉の人類学	里見龍樹	河出書房新社
25 位	〈消費者〉の誕生 近代日本における消費者主権の系 譜と新自由主義	林凌	以文社
26 位	資本主義は私たちをなぜ幸せにしないのか	ナンシー・フレイザー ／江口泰子[訳]	筑摩書房
27 位	謝罪論 謝るとは何をすることなのか	古田徹也	柏書房
28 位	目的への抵抗 シリーズ哲学講話	國分功一郎	新潮社
29 位	地霊を訪ねる もうひとつの日本近代史	猪木武徳	筑摩書房
30 位	障害があり女性であること 生活史からみる生きづら さ	土屋葉[編著]	現代書館

◆紀伊國屋じんぶん大賞 2024 フェアは、2024 年 2 月 1 日（木）より開催予定です。選考委員および読者



からの推薦コメントを掲載した小冊子を店頭にて配布いたします。詳細は各店舗にお問い合わせください。

※特設ページはこちら→ <https://store.kinokuniya.co.jp/event/jinbun2024/>

リリースに関するお問い合わせ先:株式会社 紀伊國屋書店 総務部 広報担当 info@kinokuniya.co.jp